

西小は 大きな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言・その2～

令和元年6月17日(月) No.15

発行人

また痛みが～。どうした？何か悪いことした？(T_T)の川崎先生。

★★またまた雑感9連発★★

●出張などがあって通学路を車で通りかかる事がある。丁度その時間が子どもたちの登校だったり下校だったりすることも多い。安全を確かめて子どもたちに手を振る。すると、ほとんどの子どもたちが気づいてニコニコ顔で手を振り返してくれる。うれしー＼(^o^)/そして、子どもの注意力というか気づきの鋭さには驚くばかり。自分を含めて、大人はなかなか気づかない、いや気づけない？

●「校長先生！見てみて！！」とって繭(まゆ)になりかけのお蚕さんを自慢げに見せてくれる1年生。生き物の成長に直接触れられる経験って、今は本当に貴重だと思う。※PS・・・川崎は嫌と言うほど育ててきましたよ、はい。家の中でも飼ってましたよ。はい。人間は隅においやられるのです。なにしろ”おぼこさん”ですから、はい。

●6年生が校内いたるところで美術の授業で水彩画を描いている。校舎だったり、グラウンドだったり、樹木やあやめホールや赤いほっぺの夢のモニュメントも。美術って人それぞれ見かた感じかたが違うから見ていて飽きない。”へえ～”とか”ほお～”とか思わず声が出てしまう。子どもの感性ってすごいなあ。それに比べて川崎は・・・とほほほほ。

●5年教室では中島tとジョディtとで英語の授業。DVDとジョディの生の英語は、何というか本物の英語。日本人が片言で喋る英語とはわけが違う。いやあ、これを小学校から聞いていれば絶対に耳が鍛えられる。本物の英語を知らなければ話すこともできないもんね。でも川崎ヤバイ。ここだけの話、あまりよく聞き取れなかった(+o+)。

●4年教室では厚紙を使った玉ころがしゲーム作り。これ楽しいじゃん。子どもたちのいろんな発想を見ることができる。グループになっているのでお互いの作品を参考にしながら作ることもできるし。人まねだって大いに結構。同じ感性大いに結構。

●3年生はあやめホールで音楽集会の練習中。しかしこの学年、いつも感心するけれど一生懸命歌う子の多いこと多いこと。その姿にしばし見とれる。うんうん(=^・^=)

●2年生の算数は3人グループに分かれて学び合いにチャレンジしている。みんなで額を寄せ合って、こうだよ、あだよ、と言い合っている。いいねえ。人間はずーっとずーっと多くの人と関わりながら生きて行く。ナイスチャレンジ。

●1年生は水彩絵の具でナスの色塗りをしていた。紫の作り方とか、その濃淡とか、これ意外とむずい。この塗り方の違いが、それぞれの感性なんだよね。十人十色とはよく言ったものだと言えながら思う。

●さくら学級へ行くと学級会。次のレクは何するか？を決めていた。この学級のすごいところは、1年～4年まで異なる学年がいるんだけど、それぞれがそれぞれを認め合っていて尊重しているところ。こういう学級って居心地いいだろうなあ。みんな子どもだけど、大人だなあ～。(@_@)